

広島市植物公園

見どころ案内

**トガリバヒメツバキ** (ツバキ科) 台湾原産の椿です。ほんのり紅をさした白い花が咲いています。日本原産のサザンカに似ています。昨年より花が大きく美しいです。

クリスマス飾るフラワー展

12/25(水)まで 展示温室にて開催中!

**ナガバヒカクシダ** (ウラボシ科)

ヒカクとは大鹿の角のことです。トナカイの角とキャベツの葉のような、形の違う2種類の葉をもつシダです。大温室のあちこちで見られます。

**オオオニバス** (スイレン科)

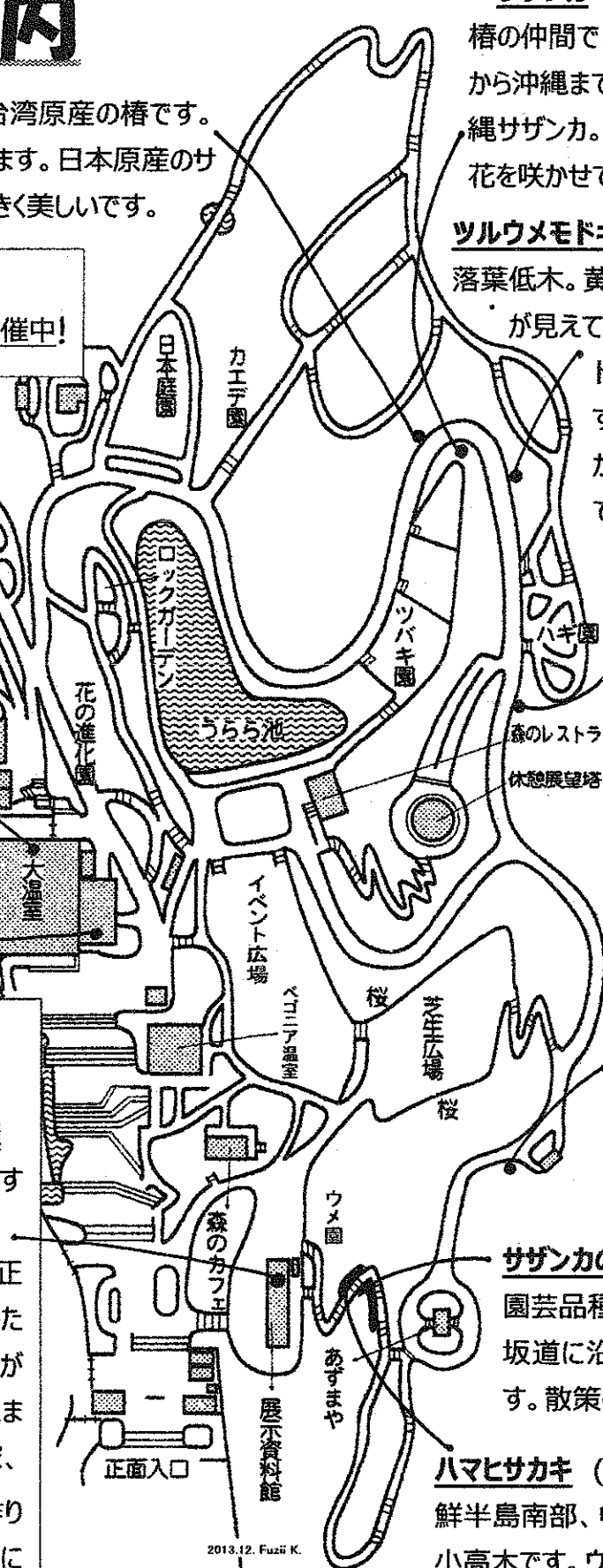
巨大な葉をもつ、スイレンの仲間です。夜咲きですが、冬は低温と光の弱さのせい、昼も花が開いたままです。

特別企画展 **らんかふ 蘭花譜展**

9/14(土)~12/23(月・祝)

展示資料館1階展示室にて開催  
前・中・後期に分けての展示も、残すは後期のみとなりました。

「蘭花譜」は、ランの収集家 加賀正太郎氏が人生をかけて監修・制作した104枚の植物図譜です。うち83枚が浮世絵の木版画の技法で印刷されました。一流の、蘭の収集家、栽培家、日本画家、木版の彫師、摺師が作りあげた幻のコレクションです。芸術的にも大変価値のあるカラー図譜です。



**サザンカ** (ツバキ科)

椿の仲間で日本固有種です。山口県から沖縄まで分布していて、別名は沖縄サザンカ。ツバキ園の一番奥に白い花を咲かせています。

**ツルウメモドキ** (ニシキギ科)

つる性の落葉低木。黄色の実が割れて赤い種が見えているのがきれいです。ウメモドキの木によじ登っています。兄弟みたいな名前ですが、ウメモドキはモチノキ科です。

**ヤマコウバシ** (クスノキ科)

落ちない受験のお守りの木です。落葉樹ですが、紅葉のあと春の芽だしまで葉が落ちずに冬をこします。枯葉がしっかりとついてる木を捜してください。

**アメリカヒイラギ**

(モチノキ科) セイヨウヒイラギとともに、クリスマス飾る木です。赤い実が見られます。モクセイ科のヒイラギと似ていますが、こちらはモチノキ科です。

**サザンカの生垣** (ツバキ科)

園芸品種のサザンカが見ごろです。坂道に沿って生垣がつづいています。散策にはおすすめの小道です。

**ハマヒサカキ** (ツバキ科)

西日本、朝鮮半島南部、中国の、海岸に多い常緑小高木です。ウメ園の生垣として植えられていて、白い小さな花が満開です。